|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| ＜授業タイトル＞　**エコでここち良いホームルームをデザインしよう**  ＜概要＞  学習テーマ：　生徒たちの共有の生活空間としての学校（教室）を物理的・心理的に快適な空間にする工夫を生徒自身が考え、　 　　　　　　模型で表現する。  学習のねらい：生徒たちが自分自身の知恵で、自分の居場所をここち良くするエコな工夫を探れるようになること  対象：　　　　高円寺中学校２年生　A組・B組　計34人　（６班：一班当り最大６人）  実施日：　　　H31（2019）年2月9日（土）1〜3校時（3時限）主教室：多目的室、測定室：2年各教室、多目的室、被服室  学校担当：　　３名  協力者：　　　東京建築士会杉並支部教育支援委員会、日本建築学会子ども教育支援建築会議他　合計12名 | | | | |
|  | | | | |
| プログラム | 内容 | 担当 | 用品・機材等 | 時間割（予定） |
| 前日準備2月8日 | 各教室の準備、模型づくり | 協力者 | 用品等  **カッティングボード** | 16:00~18:00 |
| スタッフ集合 | スタッフは多目的室に集合、準備。プログラムリーダーから説明。 | 協力者司会 | 進行表等 | 8:00（厳守） |
| P１：導入 | ①**挨拶、今日の授業のねらい、スタッフ紹介（まとめて）**  　生徒たちが自分自身の知恵で、自分たちの居場所としての教室を**ここち良くする**エコな工夫を探れるようになること | 学校 |  | 8:45～  ①＋②  ＝３分  ３分 |
| ②**プログラムの流れの説明**  ワークショップ→測定・観察→考察→デザイン・制作→発表→ミニレクチャー→講評→まとめ | 協力者司会 |
| P2：ワークショップ  〜ここち良さ・悪さって〜 | ①「ここち良さ・悪さ（冬）」で思い浮かぶキーワードの確認  （事前）生徒がポストイットに「ここち良い空間」「ここち良くない空間」で思い浮かぶ言葉を書いたものを集めておく（斎藤先生）  （事前）模造紙に要素毎（温熱、音、光、その他など）に分類して整理する。  （当日）おおぜいが感じる「ここち良さ、良くなさ」を確認する。  　・主な検討要素としては、主に温熱と光に焦点をあてることを伝える。 | 協力者司会＋  2人（模造紙に整理） | ・ポストイット  　２色  ・模造紙  ・PROCKY  ・サインペン（持参） | ①3分＋②5分  ＝8分 |
| P3:測定、観察 | 1. 測定と観察の説明：全グループが温熱と光を測定する。（各自の教室、被服室、多目的室） | 協力者司会 |  | ①1分 |
| ②まず、各教室に移動して、測定や記録のしかた、機器の使い方等の説明を聞く。(各組３班が同時に行動) | 協力者班サポーター | ・照度計  ・放射温度計  ・サーモカメラ  ・乾湿温度計  ・教師黒板用新聞  ・素材別パネル  ・タタミ等床材  ・大判ワークシートジャンル別各１枚、計３枚  色シール６色 | 1. ３分 |
| 1. 温熱と光の測定（教室、多目的室、被服室）をして、ワークシートに記入する。   ＜教室＞温湿度、照度  ＜被服室＞窓A（一重）、窓B（二重）、断熱材  ＜多目的室＞ゴザ、カーペット   1. 多目的室に戻り、測定結果を張り出した大判ワークシートに班毎に記入しておく（１枚の大判ワークシートにシールを貼る） | 被服室補助１名  多目的室補助１名  班サポーター | ③　　　教室　15分  　多目的室＋被服室  　　　　20分  （A組：多目的室から  　B組：被服室から）  　　　　計　35分  ④　　　　　　 5分 |
| 休み時間 | ■サーモグラフィー写真をプリント（A3）して掲示しておく。  ■設計図用紙・キットを各テーブルに配布。 | 協力者補助  サポーター |  | 9:40~  5分 |
| P4測定まとめ | 1. 測定結果のまとめと分析   全員で、測定したことで分かったことを、ワークシートで確認、 | 協力者司会 | 大判ワークシート（班別）  不快指数表（保健体育教科書） | 9:45~  ①5分 |
| P5:ここち良いHRをデザインしよう | 1. ホームルームって何するところ？   ・生徒にインタビューし、模造紙にまとめる。  ・授業だけでなく、皆が共同生活をする場としての教室のエコなここち良さを考えてデザインして | 協力者司会＋記録1人 | 模造紙  PROCKY | ①7分＋②2分＝9分 |
| 1. 工作プログラムの説明   課題抽出→**エコ**な解決案づくり（設計図、模型キットを使って） | 協力者司会 | 設計図用紙  （起こし絵風）  キット  （教室模型と素材用紙等） |
|  | **＜グループワーク＞　*書記、発表係を決めておく***   1. HRの心地良くないところ、その解決策を設計図書に落とし込んで整理 2. デザイン提案模型作成   　　　解決策をキットを使ってデザインする  　　　（Gサポーターは生徒たちがエコ、HR、ここち良さな  　　どのねらいを意識して活動するようアドバイスする。） | 各班サポーター補助  タイムキープ係必要 | 設計図書  キット  （PET板使用）  建材ペーパー等  のり、はさみ、カッター（持参） | ③＋④＝55分 |
| 休み時間 | 完成模型と設計図を講評場に集める。  ***模型と設計図に必ず班番号を。班ニックネーム（任意）も。*** |  |  | 10:54～  10分 |
| P6  ：プレゼンテーション．講評 | 1. 各グループプレゼンテーション   （グループ全員が交代で前に出て説明する。） | 協力者司会 | 指し棒 | ①1G3分×６G+=25分 |
| ②プロからの種明かしスライド  　環境配慮型の建築の事例とエコで心地よく過ごす工夫の簡単紹介 | 協力者発表 | PC（持参）  プロジェクター  スクリーン  ポインター | 5分 |
| ③講評 | 協力者 |  | ③　　１分×6G+＝  10分 |
| ④表彰（エコ賞、グッドアイディア賞） | 協力者 | メダル（模型に貼る） | ④　　　　　　2分 |
| P7　まとめ | 1. アンケート用紙記入の依頼（後日学校側から協力者へ）   ②　今日学んだこととこれまで学んだこと、これから学ぶことのつながり（理科、家庭科など） | 学校 |  | ①＋②　　　　5分 |
| 終り |  |  |  | 11:35 |
| 片づけ | スタッフ全員 |  |  | 11:35～ |
| スタッフ振り返り | 片づけ終了後、スタッフの振り返りミーティング（多目的室を拝借） | スタッフ全員 |  | ~12:30 |
|  |  | | | |
| 生徒持ち物 | 筆記用具、のり、定規 | | | |
| 学校にご用意いただきたいもの | 板段ボール：厚3mmまたは5mm　B2サイズ１6枚（１グループ２枚＋講師用+予備）薄模造紙：10枚　、プロジェクター、スクリーン（多目的室）、ポインター、柔道用タタミ+ゴザ  温湿度計と台　10台、　画板　7枚、カラーマーカー（グループ分）、はさみ（生徒数）、カッター（生徒数）  ワークシート・アンケート用紙等の印刷（後日データ渡し） | | | |
|  | ＜荻窪小からの借用＞　照度計　18個、放射温度計（簡易なタイプ）　18個  ＜杉八小からの借用＞　サーモカメラ1台 | | | |
| 学会＋士会で用意 | スタイロフォーム、カーペット、教室模型づくり、建材用紙づくり、その他資材、養生テープ、プロッキー、  サーモカメラ、予備サーモカメラ、PC  ワークシート・アンケートデータ、進行表・表彰メダル | | | |